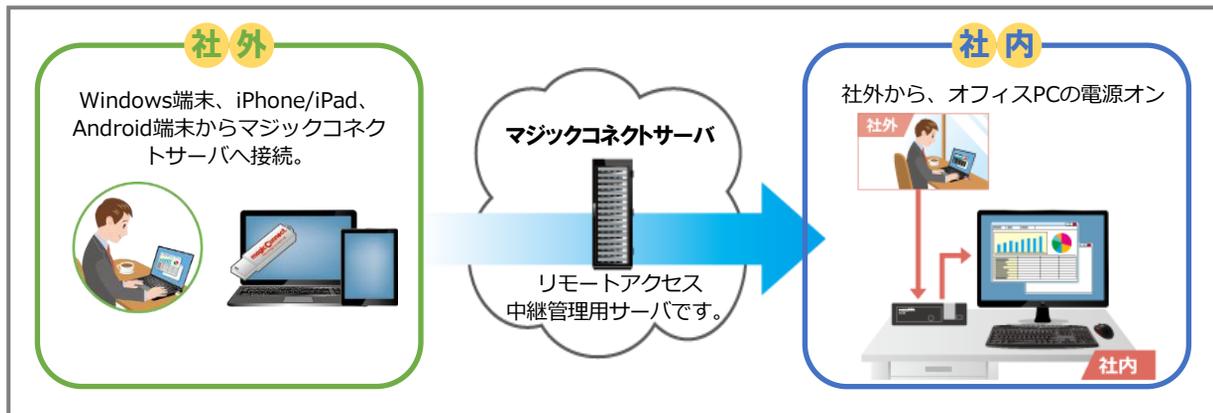


## はじめに

WOLコントローラ「MC3000」は、社外から社内にあるオフィスPCの電源を遠隔で投入できる、マジックコネク専用アプライアンスです。

本書は**MC3000の利用者**が、社外から接続先機器（対象機器、オフィスPC）を遠隔起動するために必要な作業について説明します。



## 🔧 ご利用までの流れ

### 1 はじめに

P. 1



### 2 接続先機器(対象機器)の情報収集

P. 2

- MC3000管理者からの情報収集依頼を実施する



### 3 接続先機器(対象機器)の遠隔起動設定

P. 4



### 4 接続先機器(対象機器)を遠隔起動する

P. 11



### 5 シャットダウン手順

P. 16

### 付録

P. 17

## 接続先機器(対象機器)の情報収集

MC3000管理者より、情報収集依頼があった場合、下記手順に沿って確認を行ってください。

Windows 11を例に説明します。

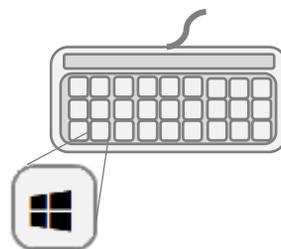
### 設定内容

1. 接続先機器(対象機器)情報の確認 ..... P. 2

### 1. 対象機器(接続先機器)情報の確認

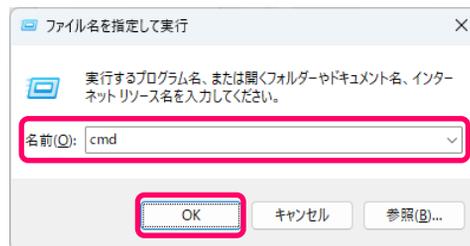
**Step1** 対象機器(接続先機器、オフィスPC)のWindowsにサインインします。

**Step2** [Windows] キーを押しながら、[R] キーを押します。

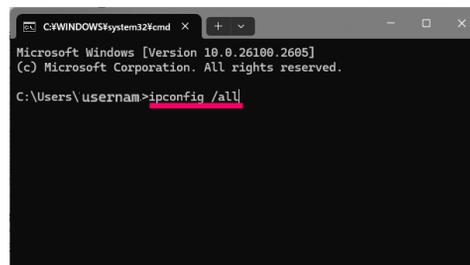


Windowsキー

**Step3** 「ファイル名を指定して実行」画面が表示されるので、「cmd」と入力し、「OK」をクリックします。



**Step4** 「コマンドプロンプト」が起動したら、「ipconfig /all」と入力しEnterキーをクリックします。



## Step5

有線LANを指す「イーサネットアダプターイーサネット」を参照します。（環境により正確な表記は変わります。）

**注意** 「Wireless/ワイヤレス」等と表示されている項目は無線LANです。遠隔起動の対象ではありませんので、MC3000管理者への報告は必要ありません。

```

C:\Users\Ymasaka>ipconfig /all

Windows IP 構成

ホスト名 . . . . . Ymasaka-PC
プライマリ DNS サフィックス . . . . .
ノード タイプ . . . . . ハイブリッド
IP ルーティング有効 . . . . . いいえ
WINS プロキシ有効 . . . . . いいえ
DNS サフィックス検索一覧 . . . . . 10.magicconnect.net

イーサネット アダプターイーサネット:
接続固有の DNS サフィックス . . . . .
説明 . . . . .
物理アドレス . . . . .
DHCP 有効 . . . . . はい
自動構成有効 . . . . . はい
IPv4 アドレス . . . . . 10.218.190.14 (優先)
サブネット マスク . . . . . 255.255.255.0
リース取得 . . . . . 2019年1月11日 18:18:14
リースの有効期限 . . . . . 2019年1月24日 16:45:13
デフォルトゲートウェイ . . . . . 10.218.190.254
DHCP サーバー . . . . . 10.218.190.5
DNS サーバー . . . . . 10.218.190.5
NetBIOS over TCP/IP . . . . . 有効
  
```

## Step6

画面から「物理アドレス」、「IPv4アドレス」、「サブネットマスク」を確認します。

収集する項目	画面項目名 (英語版表記)	例
MACアドレス	物理アドレス Physical Address	AB-CD-EF-01-45-89
IPアドレス	IPv4アドレス IP Address	192.168.1.10
サブネットマスク	サブネットマスク Subnet Mask	255.255.255.0

```

イーサネット アダプターイーサネット:
接続固有のDNSサフィックス . . . :○○○○
説明 . . . . . :○○○○
物理アドレス . . . . . :AB-CD-EF-01-45-89
DHCP 有効 . . . . . :はい
IPv4アドレス . . . . . :192.168.1.10 (優先)
サブネットマスク . . . . . :255.255.255.0
リースの取得 . . . . . :2018年2月10日 1:12:01
デフォルトゲートウェイ . . . :192.168.1.254
DHCPサーバー . . . . . :192.168.1.5
DNSサーバー . . . . . :162.168.1.5
NetBIOS over TCP/IP . . . . . :有効
  
```

## Step7

「コマンドプロンプト」画面の右上の「×」をクリックし閉じます。

```

C:\Users\Ymasaka>ipconfig /all

Windows IP 構成

ホスト名 . . . . . Ymasaka-PC
プライマリ DNS サフィックス . . . . .
ノード タイプ . . . . . ハイブリッド
IP ルーティング有効 . . . . . いいえ
WINS プロキシ有効 . . . . . いいえ
DNS サフィックス検索一覧 . . . . . 10.magicconnect.net

イーサネット アダプターイーサネット:
接続固有の DNS サフィックス . . . :10.magicconnect.net
説明 . . . . .
物理アドレス . . . . .
DHCP 有効 . . . . . はい
自動構成有効 . . . . . はい
IPv4 アドレス . . . . . 10.218.190.14 (優先)
サブネット マスク . . . . . 255.255.255.0
リース取得 . . . . . 2019年1月11日 18:18:14
リースの有効期限 . . . . . 2019年1月24日 16:45:13
デフォルトゲートウェイ . . . . . 10.218.190.254
DHCP サーバー . . . . . 10.218.190.5
DNS サーバー . . . . . 10.218.190.5
NetBIOS over TCP/IP . . . . . 有効
  
```

## Step8

MC3000管理者に、以下3点の情報を報告します。

「MACアドレス」「IPアドレス」「サブネットマスク」

この後は、P.4「接続先機器（対象機器）の遠隔起動設定」を実施してください。

## 接続先機器(対象機器)の遠隔起動設定

接続先機器(対象機器)のWakeOnLAN機能(遠隔起動機能)を有効にします。

### 設定内容

- |                  |           |
|------------------|-----------|
| 1. BIOSの設定       | ..... P.4 |
| 2. ネットワークアダプタの設定 | ..... P.6 |
| 3. 高速スタートアップの設定  | ..... P.9 |

BIOSの表示方法や詳細な設定方法は、サーバやPCにより異なります。

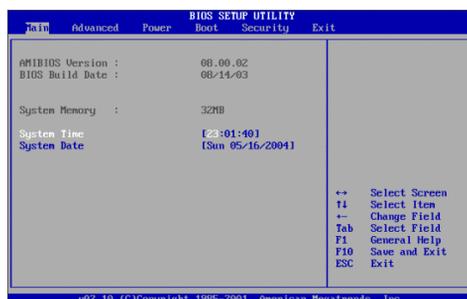
主な機器を例に説明しますが、説明と合致しない場合には、各マシンの取扱説明書を参照する、もしくはご購入先にお問い合わせください。

### 1. BIOSの設定

#### Step 1

接続先機器(対象機器)を再起動し、BIOSのメニューを表示させます。

通常は、起動時直後メーカーロゴ表示中に、[F2]キーを押します。機種により、「Delete」、「F10」キーなどの場合があります。



**Step2** WakeOnLAN を「有効」 (Enable) にします。

項目名は機種によって異なります。一般的な項目名を以下に記載します。

大項目	WOL設定項目	設定値
Power Management ~	WOL ...	Enable / ON / 有効
Power ~	Wake On Lan ...	Lan Only
Advanced (詳細)	Power On By Lan	Enable / ON / 有効
	Wake Up By Lan	Enable / ON / 有効

※ 該当する項目がない場合は、WakeOnLAN機能に対応していない機種の可能性があります。

**Step3** 一部の機種では、シャットダウン時の待機電力を抑えるため、WakeOnLAN経由の遠隔起動を抑止する設定があります。以下に該当する項目が存在する場合、併せて設定します。

大項目	設定項目例	設定値	主なメーカー
Power Management ~	Wake up From Shutdown	Enable / ON	-
Power ~	Wake on PCI Device from S5	Enable	ヒューレット・パット・パッドカード社
Advanced (詳細)	Deep Sleep Control	無効、Disable	Dell社
	ErP / EuP Support	無効、Disable	-

**Step4** 変更を保存して終了します。

例：・ [ESC] → Save Changes and Exit  
 ・ [F10] → Save and Exit

ネットワークアダプタの設定を確認し、WakeOnLAN機能を有効にします。

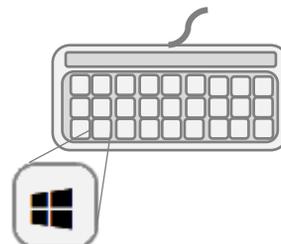
WakeOnLANの設定項目は、使用しているネットワークアダプタにより異なります。

主な機器を例に説明しますが、説明と合致しない場合には、各マシンの取扱説明書を参照する、もしくは、ご購入先にお問い合わせください。

## 2. ネットワークアダプタの設定

**Step 1** 管理者権限ユーザでWindowsにサインインします。

**Step 2** [Windows] キーを押しながら、[R] キーを押します。



Windowsキー

**Step 3** 「devmgmt.msc」と入力し、「OK」をクリックします。



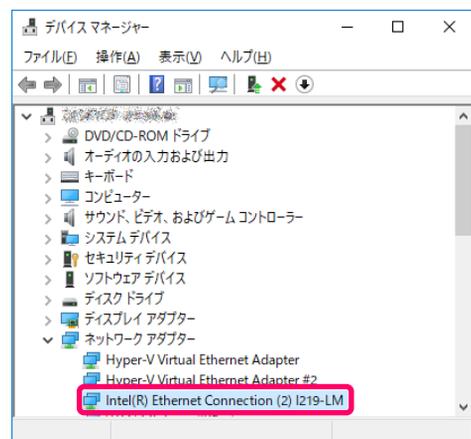
**Step 4** [ネットワークアダプター]からWakeOnLAN機能を利用する有線LANデバイスを右クリックし、表示されたメニューから[プロパティ]をクリックします。

例)

Intel : Intel(R) Ethernet Connection (2) I219-LM

Realtek : Realtek RTL8139C+ Fast Ethernet NIC

Qualcomm : Qualcomm Atheros AR8161 PCI-E Gigabit Ethernet Controller



ネットワークアダプタの種類によりプロパティの画面が違います。代表的な例を説明します。

## << Intelの場合 >>

**Step5** [電力管理]タブを選択します。



**Step6** [Wake on LAN]内の設定を、下記の通りチェックします。

- Wake On Magic Packet
- Wake on Patten Match
- 電源オフ状態からの Wake on Magic Packet

設定が完了したら「OK」で画面を閉じます。



## &lt;&lt; Intel以外の場合 &gt;&gt;

**Step5** [詳細設定]タブを選択します。



**Step6** [プロパティ]内のWakeOnLan機能に関する項目の設定を行います。「値」には「有効/オン/Enabled」等、機能が有効となる値を選択します。

- 例) ・ LAN上のウェークアップのシャットダウン  
 ・ Wake on Magic Packet  
 または、  
 ・ Shutdown Wake Up  
 ・ Wake on Magic Packet

その他考えられる項目名：

- ・ Wake on Settings
- ・ Wake Up Capabilities
- ・ Wake On 設定
- ・ Wake-On-Lan機能
- ・ ウェークアップ機能
- ・ PMEをオンにする



**Step7** [電源の管理]タブを選択し、下記項目のチェックをオンにします。

- [このデバイスで、コンピューターのスタンバイ状態を解除できるようにする]
- [Magic Packet でのみ、コンピューターのスタンバイ状態を解除できるようにする]

設定が完了したら「OK」で画面を閉じます。

**ワンポイント**

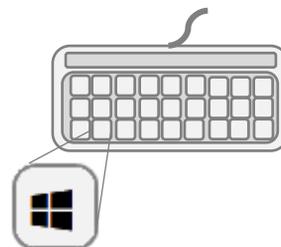
PCベンダーによっては  
 [電力の節約のために、コンピューターでこのデバイスの電源をオフにできるようにする]  
 もオンにするよう案内されている場合もあります。  
 遠隔起動ができない場合にはこの項目もオンにしてください。



### 3. 高速スタートアップの設定

**Step1** 接続先機器（対象機器）に管理者権限ユーザでサインインします。

**Step2** [Windows] キーを押しながら、[R] キーを押します。



Windowsキー

**Step3** 「powercfg.cpl」と入力し、「OK」をクリックします。



**Step4** [電源ボタンの動作を選択する]をクリックします。



**Step5** [現在利用可能ではない設定を変更します] をクリックします。



**Step6** [高速スタートアップを有効にする(推奨)]のチェックを外し、  
[変更の保存] をクリックします。



## 接続先機器(対象機器)を遠隔起動する

MC3000管理者から機器情報の登録完了連絡があった後、以下手順に沿って、接続先機器(対象機器)の遠隔起動を実施します。

### 設定内容

- |                        |       |      |
|------------------------|-------|------|
| 1. 手元端末がWindows/Macの場合 | ..... | P.11 |
| 2. 手元端末がiOS/Androidの場合 | ..... | P.14 |

### 1. 手元端末がWindows/Macの場合

**Step1** 手元端末にてMagicConnect Viewer を起動します。



Macまたは  
Windowsのマジックコネクト・ネオ マジックコネクト 従来モデル

**Step2** 【マジックコネクト・ネオの場合】  
「ユーザ名」、「パスワード」を入力し  
「ログイン」をクリックします。

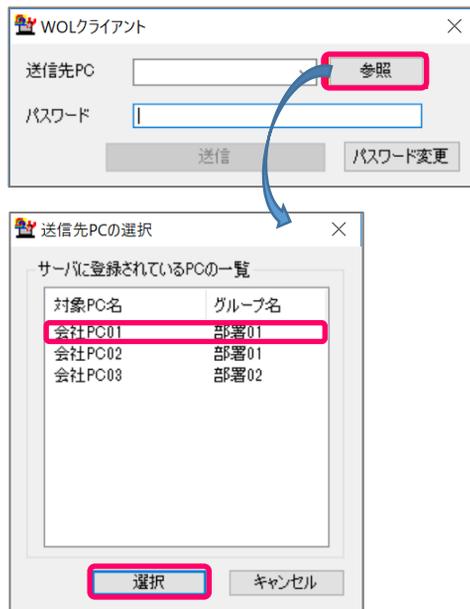
【マジックコネクト 従来モデルの場合】  
「サーバ」、「ユーザ名」、「パスワード」を入力し  
「ログイン」をクリックします。

**Step3** 接続先機器「WOL」に対し、  
「接続方法」を[WOL]に選択し、「接続」をクリックします。

#### 【マジックコネクト・ネオ】

#### 【マジックコネクト 従来モデル】

**Step4** 「参照」をクリックし、表示された一覧から、遠隔起動するPCを選択します。



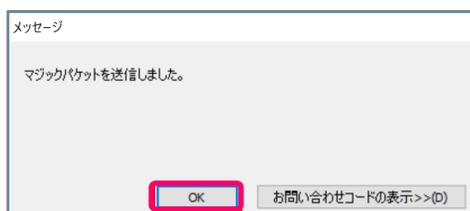
**Step5** MC3000管理者から通知された仮の「パスワード」を入力し、「送信」をクリックします。

**注意** MC3000管理者から通知された、仮の「パスワード」は、「付録.WOLパスワードの変更手順」を参照し、変更してください。



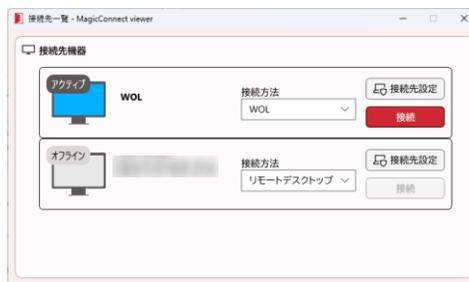
**Step6** 「マジックパケットを送信しました。」というメッセージが表示されます。

「OK」をクリックしてメッセージを閉じます。



## (a) マジックコネクト・ネオの場合 / 従来モデルのEXエディションの場合

**Step7** 接続先機器（対象機器）が起動し、接続先一覧で有効化されるまで待機します。（従来モデルのEXの場合は非表示状態から表示されるまで待機します。）  
※有効化されるまでの時間は環境に依存しますが、概ね1分から5分です。

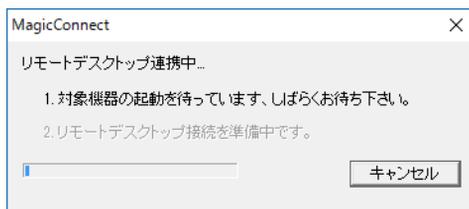


**Step8** 接続先一覧から、有効化された接続先（従来モデルのEXの場合は表示された接続先）に対し、「接続方法」 [リモートデスクトップ] を選択し、「接続」をクリックします。

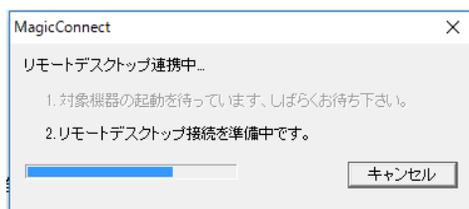


## (b) マジックコネクト 従来モデルのNDL, XDLエディションの場合 / 手元端末がMacの場合

**Step7** 「リモートデスクトップ連携中...」画面が表示されます。



**Step8** 接続先機器（対象機器）が起動し、リモートデスクトップ接続の準備が完了するまで待機します。  
※起動するまでの時間は環境に依存しますが、概ね1分から5分です。



**Step9** 自動的にリモートデスクトップ画面が表示されます。



## ワンポイント

## 【遠隔起動に失敗する場合】

「お客様サポート」ページ → 「マニュアル」 → 「WOLコントローラ「MC3000」関連」 → 「MC3000で接続先機器（対象機器）を起動できない場合の原因切り分け手順」をご覧ください。

## 2. 手元端末がiOS/Androidの場合

**Step1** 手元端末 (iOS/Android) の、MagicConnect アイコンをタップします。



**Step2** 【マジックコネクト・ネオの場合】  
「サーバ」は空欄のままです。  
「ユーザ名」、「パスワード」を入力し、  
「ログイン」をタップします。



【マジックコネクト 従来モデルの場合】  
「サーバ」を選択し、「ユーザ名」、「パスワード」を入力し、  
「ログイン」をタップします。



**Step3** 接続先一覧画面で「接続方法」に[WOL]を選択し、「接続先」に [WOL]を選択します。



**Step4** 「対象PC」をタップします。



**Step5** 表示された一覧から、遠隔起動する対象PCを選択します。



**Step6** MC3000管理者から通知された仮の「パスワード」を入力し「電源をオン」をタップします。

**⚠ 注意** MC3000管理者から通知された、仮の「パスワード」は、「付録.WOLパスワードの変更手順」を参照し、変更してください。



**Step7** 送信完了ウィンドウが表示されます。「OK」をタップして、画面を閉じます。



**Step8** 接続先機器（対象機器）が起動し、接続先一覧に表示されるまで待機します。  
※表示されるまでの時間は環境に依存しますが、概ね1分から5分です。

「接続方法」で「リモートデスクトップ」を選択し、遠隔起動した接続先機器（対象機器）を選択します。

**⚠ 注意** 遠隔起動に失敗する場合は、「お客様サポート」ページ → 「マニュアル」 → 「WOLコントローラ「MC3000」関連」 → 「MC3000で接続先機器（対象機器）を起動できない場合の原因切り分け手順」をご覧ください。



## シャットダウン手順

リモートデスクトップ接続している接続先機器（対象機器）をシャットダウンする方法について説明します。

Windows 11、Windows 10を例に説明します。

### 設定内容

**1. 接続先機器(対象機器)をシャットダウンする** ..... P.16

Windows 11、Windows 10以外の場合、以下のページを参照します。

「お客様サポート」ページ → 「マニュアル」 → 「その他」 →

「[リモートデスクトップ接続時に接続先機器（対象機器）をシャットダウンする方法](#)」

### 1. 接続先機器(対象機器)をシャットダウンする

#### Step 1

接続先機器（対象機器）の「Windows ボタン（スタート）」をクリックします。



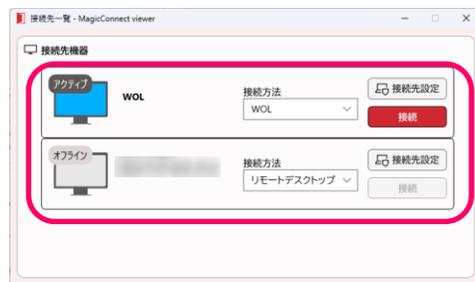
#### Step 2

スタートメニュー内の電源ボタンを押し、「シャットダウン」を選択します。



#### Step 3

手元端末の「接続先一覧」画面から接続先機器（対象機器）が消え、「WOL」のみになったことを確認します。



## 付録

接続先機器（対象機器）を遠隔起動するためのパスワードの変更方法を説明します。

## 設定内容

- |                               |             |
|-------------------------------|-------------|
| 1. WOLパスワードの変更手順(Windows/Mac) | ..... P. 17 |
| 2. WOLパスワードの変更手順(iOS/Android) | ..... P. 19 |

## 1. WOLパスワードの変更手順(Windows/Mac)

**Step 1** 手元端末にてMagicConnect Viewer を起動します。



Windowsのマジックコネクト・ネオ    Macまたはマジックコネクト 従来モデル

## Step 2

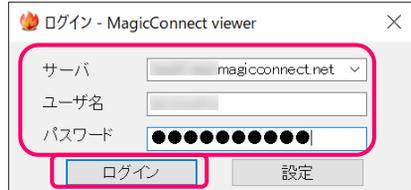
**【マジックコネクト・ネオの場合】**

「ユーザ名」、「パスワード」を入力し「ログイン」をクリックします。



**【マジックコネクト 従来モデルの場合】**

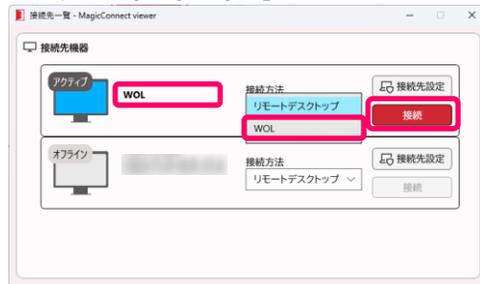
「サーバ」、「ユーザ名」、「パスワード」を入力し「ログイン」をクリックします。



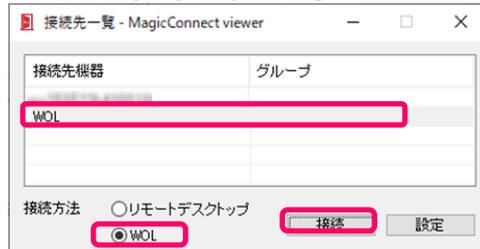
## Step 3

接続先機器「WOL」に対し、「接続方法」を[WOL]に選択し、「接続」をクリックします。

**【マジックコネクト・ネオ】**



**【マジックコネクト 従来モデル】**



## Step4

「送信先PC」にWOLパスワードを変更するPCを選択し、「パスワード変更」をクリックします。



## Step5

「現在のパスワード」「新しいパスワード」「新しいパスワードの確認入力」を入力し、「設定」をクリックします。



## Step6

「パスワードの変更に成功しました」と表示されれば成功です。「OK」をクリックして画面を閉じます。



## 2. WOLパスワードの変更手順(iOS/Android)

**Step1** 手元端末 (iOS/Android) の、MagicConnect Viewer のアイコンをタップします。



**Step2** 【マジックコネクト・ネオの場合】  
「サーバ」は空欄のままです。  
「ユーザ名」、「パスワード」を入力し、「ログイン」をタップします。



【マジックコネクト 従来モデルの場合】  
「サーバ」を選択し、「ユーザ名」、「パスワード」を入力し、「ログイン」をタップします。



**Step3** 接続先一覧画面で「接続方法」に「WOL」を選択し、「接続先」に、「WOL」を選択します。



**Step4** 「対象PC」をタップします。



**Step5** 表示された一覧から、WOLパスワードを変更するPCを選択します。



**Step6** 「パスワード変更」をタップします。



**Step7** 「現在のパスワード」と「新しいパスワード」を入力し、「変更」をタップします。



**Step8** 「新しいパスワードへ変更しました。」と表示されれば完了です。

